

上川口小学校

いのちを輝かせ

やりぬく力の育成

―挑戦・不屈・努力―

校長 前田 浩文

◆はじめに

本年度は、4人の新入生を迎え、全校児童42人、教職員10人で教育活動をスタートさせました。

児童数の関係で、3・4年生は複式学級で編制しています。

本校の1日の始まりは、くじらっこタイム(朝マラソン)。音楽に合わせて、6年生のリードで、全員が黙々と走りまわります。授業が始まるころには、頭も体もさえた状態です。朝マラソンの時間は、目覚ましタイムでもあります。

◆学校教育目標

「いのちを輝かせ」「やりぬく力の育成」「挑戦・不屈・努力」

「やりぬく力」の源は、「自尊感情」の高さであると言われます。

今年度も引き続き、校内の研究において、「自分の考えや思いを伝え、判断し行動できる児童の育成を目指して」

というテーマで取り組みを進めています。このような力が備われば、自信を持って、他者と協働・共生できる力を表現していると評価できます。つまり、「自尊感情」の高揚が期待できると考えています。

◆学力向上プロジェクト

みんなが「分かる・できる」ようになることを目指して、ユニバーサルデザインを取り入れた授業創造に取り組んでいます。

今年度の標準学力調査結果を見てみると、各学年に共通する課題は基礎・基本の力を中心に活用するか、つまり、応用する能力を高めることにあります。そのために昨年度から導入したICTを活用し、視覚に訴えた授業を構成しています。今年度は、デジタル教科書とタブレット端末を数



タブレット端末で学習

台構築、主体的・協働的な授業の工夫改善を行っています。

標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	1.15	0.88	0.90	1.10
算数	1.12	0.96	0.96	1.16
理科			0.76	1.09

◆徳の向上プロジェクト

私たちは、「褒めて・認めて・励ます」をモットーに子どもたちと向き合っています。これも「自尊感情」を育てる1つの指導方法です。人権教育参観日やキャリア教育参観日には、講師を招いて講演会を開き、人としての生き方について学びます。また、児童会では、「高知家のいじめ防止子ども宣言」のつとめて「あいさつ運動」や「全校レクリエーション」、「ありがとうの木」などに取り組んでいます。これは、子どもたちによる「なかまづくりプロジェクト」です。



あいさつ運動

◆体力向上プロジェクト

体育の授業改善には、講師を招いて、子どもたちの体力や運動能力を高めるための研修会を開いたり、トップアスリートを招いたりして、科学的なアプローチの仕方を学んでいます。冒頭で記した朝のマラソンも体力向上には有効です。持久力は確実に伸びています。子どもたちのアンケートでは運動が好きという回答が100%に達していることがなによりです。

◆防災教育プロジェクト

今年度は、昨年度の実践的防災教育の研究を継承し発展させる年です。

地震・津波についての学習はもとより、あらゆる場面を想定した避難訓練を実施しています。今年度は新たに、登校時の抜き打ち避難訓練を実施しました。これは、子ども

たちの自助・共助の力を高めたいというねらいがあります。また、年間2回の防災教育参観日を計画し、講演会や引き渡し訓練、炊き出し訓練を実施しています。保護者・地域の方がたがとても協力的です。このような取り組みを通して、子どもたちには、自らの命を守り、家族や友だち、そして、地域の方がたを思いやれる人間力を身につけてもらいたいと願っています。「防災についてもっと勉強したい」という児童が増えたことがうれしく思います。



引き渡し訓練

◆おわりに

保護者・地域の皆さんと連携しながら、4つのプロジェクトが子どもたちの成長にプラスになるよう全力で努めています。いききたいと思っています。

田ノ口小学校

『主体的に活動し、心豊かに
たくましく生きる児童の育成』
をめざして

校長 橋田 まや

◆はじめに

本年度は、5人の新入生を迎え、全校児童49人、7学級編成でスタートしました。

子どもたちの登校は早く7時ごろから始まり、校門をくぐると「おはようございます」の元気なあいさつと笑顔が職員室に飛び込んできます。

8時5分からは、年間を通して朝マラソンを行い、心身両面を鍛えています。

休み時間になると、ほとんどの子どもが外に出て、遊具や一輪車、サッカーなどで学年や男女を超え入り混じって遊ぶ姿が見られます。

こういった学校生活のさまざまな場面において、6年生が時にはしっかりとリードし、時にはやさしく関わって、田ノ口小のよき伝統を引き継いでくれています。

本年度も、このかけがえのない子どもたちがますます輝けるよう全力で取り組みます。

◆命を守る防災教育

本校では、本年度より2年間の「実践的防災教育推進事業」の指定を受け、防災教育を推進しています。防災教育目標を「主体的に行動し、自分の命を守りきることでできる児童の育成」として、さまざまな場を想定した避難訓練や防災学習を実施し、「我がこと防災」を大事にした取り組みを行い、どこで地震にあっても自分で主体的に判断し、命を守る行動を身につけていきます。また、引き渡



◆仲間とともに

子どもたちに、力を合わせ1つの作品を完成させることができる集団づくりの取り組みを継続して行っています。

今年度は、全校で防災をテーマに「避難タワー」の共同作品づくりに取り組みました。また、個人作品に取り組んだ子どもたちもいて、休み時間や放課後を使って時には1人

で集中して、時には仲間と助け合ってコツコツと仕上げ、達成感を味わうことができました。これらは、毎年、いの町の博物館で行われている「紙と遊ぶう作品展」に出品しています。



◆学力の向上を目指して

本校では、児童に確かな学力をつけるための「楽しい・分かる・できる」授業を目指して、自分の考えを書く作業や話し合い活動を取り入れた授業づくりを行っています。

下表は、4月に実施した標準学力調査における本校の結果です。全国を1と見たときの平均正答率を見ると、どの学年も全国と同等かやや低いという状況でした。また、6年生が実施した全国学力テストでは、算数B以外は全国平均

均を上回るという状況でした。

結果を細かく分析すると、文章の読み取り、自分の考えを条件に沿って書くこと、図や表・グラフの読み取りなどに課題が見られました。これらの課題については、まずは日々の授業の中でしっかりと取り組んでいきます。さらには、主体的に意欲をもって学ぶ姿勢や学んだ知識を活用するための言語能力を育む取り組みを進めていきます。

標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	0.97	0.87	1.10	0.91
算数	1.00	0.97	0.99	0.90

◆読書力の構築に向けて

毎週火・水・木の始業前、読書ボランティアさんが来てくださるようになって今年で5年目となりました。今年度は5人のボランティアさんが来てくださり、季節や行事、児童の実態に合った本を見つけて読み聞かせして下さって

います。子どもたちは本が大好きで、目を輝かせて聞き入っています。

また、読み聞かせに入らない学級でも、自分たちが静かに朝読書の時間を楽しむことができます。

また、図書館支援員さんにより、図書環境も充実してきており、図書室で読書を楽しむ子どもたちが増えました。

◆コミュニティ・スクール

地域の皆さんにはあらゆる場面で支援や協力をいただいているのですが、昨年度より2年間の県の指定を受け、「コミュニティ・スクール」の立ち上げを進めています。目的は、地域・保護者・学校が一体となって、子どもたちのために地域独自の学校教育をつくりあげようというものです。そのためには、地域・保護者・学校が思いを1つにすることが大切になってきます。現在、区長さんや民生委員さん、PTA役員が中心になって推進委員会の開催、先進校視察、研修会などの取り組みを進めています。

